

## ナノ・マイクロ産学官共同研究施設及び 東海道貨物支線の現場訪問について

7月31日(火)の「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、「新川崎・創造のもり」地区に開設された超微細技術・超精密技術による研究開発に取り組む「ナノ・マイクロ産学官共同研究施設（<sup>ナノビック</sup>NANOBI<sup>ック</sup>C）」を訪問しました。

また、京浜臨海部を通る東海道貨物支線については、沿線の自治体などで構成する「東海道貨物支線貨客併用化整備検討協議会」で、貨客併用化の検討を行っています。検討ルート上にあり国際戦略総合特区でもある殿町地区などを訪問しました。

### ○ ナノ・マイクロ産学官共同研究施設「<sup>ナノビック</sup>NANOBI<sup>ック</sup>C」



#### 研究施設の視察

かわさき新産業創造センター本館にあるクリーンルームなど最先端の科学技術の研究施設を視察しました。

4大学ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアム\*の菱田慶應義塾大学教授から、ナノ・マイクロテクノロジーの研究内容について説明を受けました。



#### \* 4大学ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアム

「拡張ナノ空間」と呼ばれる未開拓領域の工学研究を促進するため、慶應義塾大学、早稲田大学、東京工業大学、東京大学の四大学が発足させた<sup>ナノビック</sup>コンソーシアム(共同事業体)。NANOBI<sup>ック</sup>Cを研究拠点としている。



### 研究者との意見交換

4大学ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアムの松本代表（東京大学理事・副学長）以下研究者と、最先端の研究で得られた研究成果の中小企業等への技術移転などについて、意見交換を行いました。

## ○ 東海道貨物支線貨客併用化検討ルート

### 川崎貨物駅付近

東海道貨物支線は、川崎貨物駅から東京貨物ターミナルの手前までの約6.5kmが羽田トンネルとなっています。跨線橋から東海道貨物支線の現況を視察しました。



### 川崎市殿町地区

多摩川の堤防上から、直下を通る東海道貨物支線の貨客併用化の検討状況や、国際戦略総合特区との関係などについて説明を受けました。